

生態リスク初期評価 再評価物質の新旧結果（再評価を実施した11物質を再掲）

番号	物質名（CAS番号）	前回の評価結果										第14次とりまとめ評価結果 ^(注5)									
		有害性評価（PNECの根拠） ^(注1)			アセスメント係数 ^(注1)	予測無影響濃度PNEC(μg/L) ^(注1)	予測環境中濃度PEC(μg/L) ^(注1,2)	PEC/PNEC比 ^(注1,2)	PEC/PNEC比による判定 ^(注3,6)	評価結果 ^(注2,3)	とりまとめ	有害性評価（PNECの根拠） ^(注1)			アセスメント係数 ^(注1)	予測無影響濃度PNEC(μg/L) ^(注1)	予測環境中濃度PEC(μg/L) ^(注1,2)	PEC/PNEC比 ^(注1,2)	PEC/PNEC比による判定 ^(注3)	評価結果 ^(注3,4)	変更概要
		生物種	急性/慢性	エンドポイント								生物種	急性/慢性	エンドポイント							
環境5	1,1-ジクロロエチレン (75-35-4)	甲殻類 オオミジンコ	急性	LC ₅₀ 死亡	1,000	79	< 5	< 0.06	【 】		パイロット事業	藻類 緑藻類	急性	EC ₅₀ 生長阻害	100	91	10	0.11			新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。 生態毒性に関する知見を新たに入手し、PNECも変更された。 評価結果は、「情報収集に努める必要がある」とされた。
							< 5	< 0.06									< 10	< 0.11			
環境6	N,N-ジシクロヘキシルアミン (101-83-7)	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	0.49	0.2	0.4	【 】		第6次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	0.49	-	-	x		PECを設定できる10年以内の水質調査結果が得られなかったため、PECは設定できなかった。 生態毒性に関する知見を新たに入手したが、PNECの変更はなかった。 評価結果は、前回からの変更はなく、「情報収集に努める必要がある」とされた。
							0.03	0.06									-	-			
環境7	ジビニルベンゼン (1321-74-0)	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	3.5	< 0.002	< 0.0006	【 】		第7次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	3.5	< 0.002	< 0.0006			新しい水質調査結果は得られず、PECの変更はなかった。 生態毒性に関する知見を新たに入手したが、PNECの変更もなかった。 評価結果は、前回からの変更はなく、「現時点では作業の必要はない」とされた。
							< 0.002	< 0.0006									< 0.002	< 0.0006			
環境8	ジプロモクロロメタン (124-48-1)	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	0.63	0.41	0.7	【 】		第7次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	10	6.3	-	-	x		PECを設定できる10年以内の水質調査結果が得られなかったため、PECは設定できなかった。 生態毒性に関する知見を新たに入手し、PNECが変更された。 評価結果は、前回からの変更はなく、「情報収集に努める必要がある」とされた。
							0.04	0.06									-	-			
環境10	2,4,6-トリクロロフェノール (88-06-2)	魚類 ブルーギル	急性	LC ₅₀ 死亡	100	4.1	0.088	0.02	【 】		第8次	魚類 ブルーギル	急性	LC ₅₀ 死亡	100	4.1	0.027	0.007			新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。 生態毒性に関する知見を新たに入手したが、PNECの変更はなかった。 評価結果は、前回からの変更はなく、「現時点では作業の必要はない」とされた。
							< 0.005	< 0.001									0.004	0.001			
環境12	プロモジクロロメタン (75-27-4)	藻類 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	8.0	< 0.004	< 0.0005	【 】		第7次	藻類 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	8.0	< 0.004	< 0.0005			新しい水質調査結果を入手したが、PECの変更はなかった。 生態毒性に関する知見を新たに入手したが、PNECの変更もなかった。 評価結果は、「情報収集に努める必要がある」とされた。
							0.011	0.001									0.011	0.001			
環境14	ほう素及びその化合物 (7440-42-8,ほう素)	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	60	2700	45	【 】		第6次	甲殻類 ニセネコゼミジンコ	急性	LC ₅₀ 死亡	100	455	310	0.7			新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。 生態毒性に関する知見を新たに入手し、PNECも変更された。 評価結果は、「情報収集に努める必要がある」とされた。
							-	-									-	-			

番号	物質名 (CAS番号)	前回の評価結果										第14次とりまとめ評価結果 ^(注5)									
		有害性評価 (PNECの根拠) ^(注1)			アセスメント係数 ^(注1)	予測無影響濃度 PNEC (µg/L) ^(注1)	予測環境中濃度 PEC (µg/L) ^(注1,2)	PEC/PNEC比 ^(注1,2)	PEC/PNEC比による判定 ^(注3,6)	評価結果 ^(注2,3)	とりまとめ	有害性評価 (PNECの根拠) ^(注1)			アセスメント係数 ^(注1)	予測無影響濃度 PNEC (µg/L) ^(注1)	予測環境中濃度 PEC (µg/L) ^(注1,2)	PEC/PNEC比 ^(注1,2)	PEC/PNEC比による判定 ^(注3)	評価結果 ^(注3,4)	変更概要
		生物種	急性/慢性	エンドポイント								生物種	急性/慢性	エンドポイント							
環境15	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート (26471-62-5)	魚類 ファットヘッド ミノー	急性	LC ₅₀ 死亡	1,000	160	-	【×】	×	パイロット事業	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	本物質の高い加水分解性より、通常の活動では、水生生物が本物質を水質から曝露する可能性はないと考えられ、また、本物質を被験物質とした水生生物に対する毒性値は本物質の加水分解生成物の毒性を示していると考えられたため、本物質の水生生物に対する生態リスク初期評価は行われなかった。	
生態1	オクタクロロスチレン (29082-74-4)	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	0.0091	< 0.01	【×】	×	第6次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	0.0091	< 0.000046	< 0.005	< 0.000046	< 0.005	新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。生態毒性に関する知見を新たに入手したが、PNECの変更はなかった。評価結果は、「現時点では作業の必要はない」とされた。	
生態2	サリチルアルデヒド (90-02-8)	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	3.8	-	【×】	×	第3次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	1.2	< 0.013	< 0.01	< 0.013	< 0.01	新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。生態毒性に関する知見を新たに入手し、PNECも変更された。評価結果は、「現時点では作業の必要はない」とされた。	
生態7	2,4,5-トリクロロフェノール (95-95-4)	甲殻類 オオミジンコ	急性	EC ₅₀ 遊泳阻害	1,000	0.90	< 0.2	【×】	×	第2次	魚類 ニジマス	急性	LC ₅₀ 死亡	100	2.6	< 0.007	< 0.003	< 0.007	< 0.003	新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。生態毒性に関する知見を新たに入手し、PNECも変更された。評価結果は、「現時点では作業の必要はない」とされた。	

- (注1) - : PECが設定できなかった場合、あるいはPEC/PNEC比の算出ができなかった場合を示す、(-) : 評価の対象外、あるいは評価を実施しなかった場合を示す
(注2) 実測値に基づくPEC、及びPEC/PNEC比、評価結果の上段は公共用水域(淡水)、下段は公共用水域(海水)
(注3) : 現時点では作業は必要ない、 : 情報収集に努める必要、 : 詳細な評価を行う候補、× : 現時点では生態リスクの判定はできない
(注4) 生態リスク評価分科会において関連情報を総合的に勘案した判定を示した
(注5) 表中の網掛けは、前回評価結果からの変更箇所を示す
(注6) 第8次とりまとめまでは「PEC/PNEC比による判定」は表記されていないが、現在の表記形式で記載すると【 】内に示したようになる。